

福岡市立高等学校（4校）と連携協定を締結 高等学校の生徒を対象にキャンパスツアー・授業参加型プログラムを実施

福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学は、大学教育・高等学校教育の活性化等を目的として、福岡市立高等学校である福翔高等学校・博多工業高等学校・福岡女子高等学校・福岡西陵高等学校の4校と「高大連携に関する協定」を締結しました。この協定は相互の教育に係る交流・連携を通じて、高大連携に係る取り組みの実質化を図ることを目的としています。

6月13日、福岡歯科大学において執り行われた調印式には、福翔高等学校より藤 菊英校長、博多工業高等学校より福岡 哲朗校長、福岡女子高等学校より大洲 隆一郎校長、福岡西陵高等学校より佐伯 哲郎校長が出席し、協定書に署名しました。

また、6月20日より本学園3大学のキャンパスツアーと授業参加型プログラムが実施されました。市立高等学校の生徒は、各大学や医科歯科総合病院を見学し、本学園の特色や魅力について説明を受けました。授業参加型プログラムでは演習に参加し、シート交換や血糖シミュレーションなどを体験しました。

今後も各高等学校と連携した取り組みが期待されます。



福岡歯科大学 同窓生ご子息・ご息女対象オープンキャンパス
ならびにホームカミングデーを開催

6月18日、福岡歯科大学同窓生のご子息・ご息女を対象としたオープンキャンパスを開催しました。県内外の高校生や保護者など約40人が参加し、病院やロボット実習室などの施設見学や、コンピュータを使用した頭蓋骨3Dモデルで顔の骨格を知る模擬実習、大学の概況や令和6年度入学者選抜に係る説明、個別進学相談会が行われました。参加者からは「最新の設備が充実していて、ここで学びたいと思いました」、「病院も見学することができて、将来をイメージすることができました」との声をいただきました。

また、同日に同窓生ならびにそのご家族を対象としたホームカミングデーを開催しました。50周年記念講堂にて開学からの歴史を高橋学長がスライドを用いて振り返り、大学、病院などの施設を見学しました。参加した同窓生からは「自分たちが卒業してからの歴史を感じました」、「新しい施設に驚きながらも、懐かしさもあり、楽しかったです」との声をいただきました。

